米沢興譲館同窓会会報

第31号
発行／平成14年8月1日
米沢興譲館同窓会
会報　編集委員会
当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏(昭和28年卒)の揮毫によるものです。

みなぎる青春がここにある

—平成14年度母校学校案内より—

興譲館同窓生の誇りと共に

平成十四年度同窓会・懇親会
実行委員長　小嶋　喜市郎
(昭和四十二年卒　七・七会)

今年も興譲館同窓会総会の季節になりました。恒例ではありますが、私は、この会を迎えるとき、いつも若い日を思い出し懐かしさと活力を体内に感じます。例年大先輩から若い人達まで大勢が会場狭しと集います。

同窓生はそれぞれ同じ歳頃に興譲館で学び、巣立って、母校への愛情と誇りを胸にしながら現在活躍しておられるものと存じます。同窓会総会・懇親会は一年に一度母校への想いを新たにし、かつ深める良い機会であると思います。

今年は、昭和四十二年卒、四十六年卒、五十一年卒、五十七年卒、六十二年卒の実行委員が担当し準備を進めて参りました。今年も多くのご参加を頂き、盛会に開催できますようによろしくお願い申し上げます。

最後に、興譲館の隆盛と同窓会員各位のご健勝をお祈りしご挨拶といたします。

若い会員の積極的参加を期待して

同窓会長　川野　希

同窓の皆さん、日ごろ母校並びに本会のためにご配慮・御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

母校もこの九月には創立百十六周年を迎えますが、今春は久しぶりに普通科・理数科ともに定員を上回る生徒の受験があり、さらに県内で唯一、文部科学省よりスーパーサイエンス校（詳細は8ページ）の指定を受けるなど、益々充実した姿を見せております。これも校長先生始め教職員の方々の努力と、何よりも生徒の活躍があればこそと、我々同窓生も喜びに堪えません。

同窓会も、その母体である各支部・各学年がそれぞれ着実な活動を続けております。ただ残念なことは、各支部とも若い諸君の参加が少ないことで、今後更なる発展を期するためにも、大きな課題として考えていかなければなりません。記念講堂の借入金返済については、新しい資金部が特に若い学年への働きかけを中心に、何とか期限内に完済するよう努力を続けております。

若い諸君は、同窓会を背負っていくのは我々だという強い自信を持って、会を盛り上げていってほしいものです。

今年の総会・懇親会は、昭和四十二年卒を中心とした当番学生が、早くから準備をされています。ぜひ成功させるよう皆さんの絶大な協力をお願い致します。

旧校舎跡地、西側の桜

米沢興譲館同窓会

平成十四年度総会・大懇親会ご案内

一　日　時　平成十四年　九月十九日（木曜日）

一　会　場　グランドホクヨウ（市内金池二丁目）

一　日　程　①総　会　午後四時

②懇親会　午後六時から

平成十四年度米沢興譲館同窓会会長　川　野　　希

平成十四年度同窓会・懇親会実行委員長　小　嶋　喜市郎

（昭四十二年卒）

秋の白布街道 興譲館OBマラソン実施要項

◎趣　旨　秋の白布街道をかつて汗して走った思い出に浸りながら浩然の気を養い、旧交を温め同窓の意識を高めあう。

◎主　催　米沢興譲館高等学校　同窓会・体育文化後援会

要　項

・期　日　平成14年9月16日(月)（振替休日）

開会行事　9時30分　興譲館跡・現ふれあいセンター

スタート　9時50分から10時40分（各自・各チーム時間差）

ゴール　（高橋）12時から12時30分予定

閉会行事　（兼懇親会）　白布温泉西屋　14時から

・コース　スタート・興譲館跡→ゴール・高橋　16km

・走る方法

一、個人で全コース　駅伝形式…一人で走る距離・回数、中継点等はそのチームで自由。

二、2～3人のチームで　例えば…1台か2台の車でチームを組み運転と走者を交代しながらゴールへつなぐ。

三、4人以上のチームで

EQの時代

学校長　巻　久

五月十八日㈯は永く心に刻まれる日となった。

この日、終日雨が降りしきる中、サッカーの県大会が本校のグランドで開催された。本校は上位入賞が期待されていたが、一回戦、鶴岡南との試合終了直前にファールがあり、PKの一点が決定打となって敗退したのである。ホームグランドでの勝利を固く信じていただけに選手の失望感は半端なものではなかった。ある者はうつぶせになり、またある者は仰向けになって、顔や身体の半分が泥水に浸った状態で人目も憚らずに号泣していた。

陣地に退却する時間になってもグランドから立ち去ろうとはしなかった。本校のサポーター約五〇人（生徒・教職員・保護者）はどうすることもできなかった。ただ呆然として選手の悲しさや悔しさに共感して涙するしかなかった。この沈黙の時間は5分程度だったが、ずいぶん長く感じられた。

「グランドに青春あり、本校生に青春あり」

こんな思いを強くしたものだった。そして、この試合がもとで次のような「青春の心」ともいうべきものを考えてみた。

青春の心

①夢に向かって熱く燃える心
②その一瞬を精一杯生きようとする心
③困難に出会ってもくじけず、それを解決しようとする心
④みんなで喜んだり、悲しんだり、くやしがったりする心
⑤仲間を応援しようとする心、感謝する心

ところで、少し前になるが、知能指数（IQ）に対して、情緒指数（EQ…Emotional Quotient）が話題になったことがあった。注目すべきは、社会の変化に主体的に対応していく上で、また、息の長い人生を送る上でEQの高さが求められるという指摘である。とすれば、ここまでまとめた「青春の心」はEQの主要な部分であると位置づけてみてはどうだろうか。学校では今、夏の野球大会を控えて応援練習が盛んで、また、三年生にとっては本格的な受験勉強の時期でもある。二一世紀を担う有為な人材の育成を視野に入れ、偏差値・点数などの、IQの部分とEQとを並行して強化していきたいと念じている。同窓会の皆様方には今後とも力強い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

・スタートとゴール
ゴール時刻を「12時～12時30分」とし、スタートは、個人・チームの走力により、時間差スタートとする。

・申　込
〒九九二－〇〇四七　米沢市徳町二二九－一八　土澤　幸雄　宛
TEL　〇二三八（二二）六九三四
期限　平成14年8月31日

・参加料　無し。但し、直会参加は1人二、〇〇〇円。

・その他
・全員（走者・運転等）に参加記念品あり。
・服装自由・タスキ・ゼッケン等主催者では準備しないので各自各チームで準備する。
・サポーターの車、給水・補助食、薬品等の救急関係・・各自・各チームで配慮する。
・健康管理・・絶対に無理のないよう。万全を期すこと。
・途中の事故等・・主催者はその責を負いませんので、各自各チームで。
・直会い…ゴールしてその足で白布（西屋）へ。湯につかって懇親～自由解散
・小雨決行…大雨の際は白布までドライブ。（懇親会）

米沢興譲館高等学校

創立記念式典・記念講演

一　日　時　平成十四年　九月十九日（木曜日）
一　会　場　米沢興譲館高校　記念講堂
一　日　程　①記念式典　午前九時から
②記念講演　午前九時三十分から
講　師　伊　藤　道　雄　氏
（昭四十二年卒・クリニック院長）

支部だより

✹東京支部

支部長　磯貝　昌弘

去る七月一日東京支部恒例の総会を赤坂ニューオータニにて開催致しました。

巻学校長にお祝辞並びに近況ご報告を頂く。本部各会長のご臨席はじめ、一二一名の出席会員にて大盛会でした。当日はワールドカップサッカー閉会式のため韓国金大中大統領がホテル・ニューオータニに宿泊、晩餐会を行いましたので、韓国SP、日本国警察の警備・プレス関係者が多く他の宴会等は急遽お断りとの事でした。興譲館東京支部は金大中大統領のレセプションと同フロアで隣り合わせのパーティ会場にて何の遠慮もなく楽しい懇親会が出来ました。出席最年長の佐藤藤助氏（昭15年卒　元・東京支部幹事長）のご発声にて乾杯。昨年より取り入れた卒年次制実行委員会ご招待の本間和夫先生と教え子達との歓談、ジャズ歌手青柳さんの歌声に喝采。同期生同士の談笑に時間の過ぎ去る早さを惜しみ乍ら来年の再会を約し閉会致しました。

第一部　第二部を通して感じた事は四〇年後半五〇年代以降の参会者が少ない事でした。親元を離れて第一線で活躍中の若い同窓生が、遠慮ないお国訛りがホットしたひとときになれば、そして又、何か先輩より得るものがないものか？等々、課題は山積しております。月末には担当実行委員会と支部役員とで今回の反省と今後の方針を検討致す予定で御座います。

末筆となりましたが、母校の発展をお祈り申し上げご報告とさせて頂きます。

✹宮城支部

支部長　中條　仁

宮城支部では毎年十一月に支部総会を開催しており、会長と校長にご案内しております。現在、宮城支部の会員は約三四〇名ですが、若い会員は出入りが多いため所在の把握が困難であります。

平成十三年度支部総会は、高野譲副会長をお迎えし、会員及び仙台興譲館の学生をまじえ約四十名が参加して開催しました。高野副会長には同窓会と高校の現状を報告して頂きました。議事の後、仙台市歴史文化事業団理事長、東海林恒英氏を講師にお招きして、「伊達政宗の町づくり」―開府四百年にちなんで―と題して記念講演をして頂きました。政宗の仙台築城や城下町の整備などについての講演で、折しも米沢では上杉鷹山公生誕二五〇年を祝っていろいろな行事が行われており、タイムリーで興味深い講演でした。講演会の後、来賓を交えて和気藹々と懇親を深め、校歌や応援歌を大合唱し、万歳三唱して解散しました。

その他、懇親ゴルフ・コンペを毎年春秋二回開催しております。

✹米沢支部

支部長　高橋　忠藏

旧校舎跡地での観桜の宴

しばらく絶えていた米沢支部の集いを「観桜の宴」と名付けて五回目の今年、米沢も日本各地がそうであったように、例年になく早く桜が開花した。毎年なかなか満開の時を予測する事が難しく、今年

はわずかにのこった花びらが、旧懐談に花を咲かせるかつての美男、美女にふりそそぐ四月二十日でした。

懇親会に先立ち、今年度の本部同窓会総会・大懇親会担当の学年代表から参会のご案内。そして、近厚先輩（昭18卒）の乾杯の音頭で楽しい宴のスタート。

関東町の旧校舎跡地でのこの集いに「来年は是非多くの仲間を誘って参加したい」というある参加者の声をうれしく受けとめ、主催側としても次年度は新しいプログラムも用意して・・・と思うことでした。母校の発展を祈りつつ。

フェンシング部

合唱コンクール

ホッケー部

野球部史発行する

明治三十四年の創部以来百年の歴史を刻む興譲館野球部の歩みがハードカバー三百二十五頁の本として出版された。

部史の構成は、年次毎にその年の社会状勢、学校のうごきなどの時代背景に触れ、また夏の大会の組合せヤグラと戦跡を掲載。さらに、その年最上級生として活躍された方々からの寄稿や会報などに記された文章などものせられている。編集後記で高野譲（昭二十九卒）氏は「ともあれOB諸氏にはこの部史を繙かれ過ぎし日のグランドで流した汗を思いおこし、仲間との友情を改めて感じとっていただければ幸である」と記されているが、同時に母校野球部のさらなる躍進と、他の部のOB会の刺激につながればうれしいかぎりである。

（編集部）

講堂建設資金に百万円の寄付

昨年七月に惜しまれて亡くなられた鈴木章氏（昭四十一卒）の奥様から、故人の遺志ということで母校同窓会あて、講堂建設資金の一部に、ということで百万円、それにドイツ語の辞書を数冊ご寄付を頂いた。同年の相田治孝氏によれば「鈴木さんは在学中から天才肌の人で、授業中も物事の本質を見つめていた。美術部や新聞部に席を置いておられたと思う。詩作においては受験雑誌への投稿者の常連。寺山修司に絶賛された作品もある。入学時から卒業まで首席であった。

鈴木氏は本校卒業後、東京外語大学ドイツ語学科に進学され、卒業と同時に、オリンパス光学（特許部）に入社される。昭和六十年には弁理士の資格を取得され、様々な意味で会社に貢献されたと言う。自分の人生はまさにこれからと言うとき、病におかされ亡くなられた。同窓会は鈴木氏へ心よりお悔やみを申し上げると同時に、頂戴したお志を大切にさせていただくことをお誓いする。鈴木氏のご冥福を心よりお祈り申し上げ、ご報告にかえさせていただきます。

（編集部）

平成12年度　同窓会会計決算書

（平成12年9月1日から平成13年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	予算額	決算額	増減(△)	備　考
繰越金	636,967	636,967	0	前年度繰越金
入会金	1,687,000	1,687,000	0	241名×7,000円
年会費	2,300,000	1,467,000	833,000	
過年度会費	500,000	50,000	450,000	過年度会費未納分
雑収入	33	844	△　811	預金利子
計	5,124,000	3,841,811	1,282,189	

決算額

収入済額 3,841,811円－支出済額 2,886,467円

＝残額 955,344円

（次年度繰り越し）

支　出

（単位：円）

項　目	予算額	決算額	残　額	備　考
運営費	**1,556,000**	**1,233,606**	**322,394**	
会議費	120,000	77,339	42,661	会議費補助
通信連絡費	100,000	33,720	66,280	通信費
需用費	336,000	122,547	213,453	事務用品
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
事業費	**2,738,000**	**1,471,861**	**1,266,139**	
一般事業費	2,108,000	838,811	1,269,189	各支部総会(旅費・お祝)・送料
卒業記念費	250,000	253,050	△　3,050	認印
表彰費	30,000	30,000	0	記念品代(3名)
会報費	350,000	350,000	0	第30号 印刷代
予備費	**830,000**	**181,000**	**649,000**	
予備費	830,000	181,000	649,000	過納会費返還金
計	5,124,000	2,886,467	2,237,533	

参　考	年会費預かり状況（単位：千円）											
年　度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		計
金　額	469	235	176	103	58	46	24	13	7	4		1135

◎高畠支部

支部長　登坂捷一
〒992-0351　東置賜郡高畠町高畠2152-23
☎0238 (52) 0017
副支部長　梅津伊兵衛・星　寛治
幹事長　鈴木征治
事務局長　連絡先　金田成康　高畠町役場内
☎0238 (52) 1111

◎赤湯支部

支部長　須藤清次　〒999-2211　南陽市赤湯3005
☎0238 (43) 6111
副支部長　伊藤幸太・吉田堅治
事務局長　連絡先　高橋順一
〒999-2231　南陽市二色根76-1

◎宮内支部

連絡先　〒992-0472　南陽市宮内3010-10
吉田文雄　☎0238 (47) 2706
支部長　佐藤　稔
副支部長　川合悌次郎・星　清一
幹事長　吉田文雄
監事　高橋正夫

◎川西支部

連絡先　〒992-0121　東置賜郡川西町上小松
川西町役場　猪狩文昭　☎0238(42)2111
支部長　遠藤忠志
〒992-0213　東置賜郡川西町尾長島1211
☎0238 (42) 4121
副支部長　鈴木　弘
監事　船山昭司・嶋津憲英
幹事長　猪狩文昭
事務局長　島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治

◎長井西置賜支部

支部長　松下鉞三郎
副支部長　井上俊雄・芳賀康雄
監事　安部義彦

◎小国支部

支部長　高井朋次
〒992-1203　西置賜郡小国町市野々389
☎0238 (65) 2006
副支部長　阿部　正・木村信夫
幹事長　渡部君夫

◇興譲館同窓会校内役員

理事　勝見英一朗・佐藤広明・武田蹤一
玉橋博幸
幹事　石黒宏治・菊地敏昭・佐藤美枝子

平成13年度　同窓会会計予算書

（平成13年9月1日から平成14年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備　考
繰越金	955,344	636,967	318,377	前年度繰越金
入会金	1,533,000	1,687,000	△154,000	219名×7,000円
年会費	2,300,000	2,300,000	0	昭28年～平4年まで 50,000円×40学年 昭27年～昭17年まで 30,000円×10学年
過年度会費	833,000	500,000	333,000	過年度会費未納金
雑収入	656	33	623	預金利子
計	5,622,000	5,124,000	498,000	

支　出

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備　考
運営費	**1,520,000**	**1,556,000**	**△ 36,000**	
会議費	120,000	120,000	0	理事会等
通信連絡費	100,000	100,000	0	郵便切手
需用費	300,000	336,000	△ 36,000	慶弔・事務用品
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
事業費	**2,710,000**	**2,738,000**	**△ 28,000**	
一般事業費	2,100,000	2,108,000	△ 8,000	各支部総会(旅費・お祝い)、送料
卒業記念費	250,000	250,000	0	記念品代
表彰費	10,000	30,000	△ 20,000	永年勤続者(1名)
会報費	350,000	350,000	0	印刷代
予備費	**1,392,000**	**830,000**	**562,000**	
予備費	1,392,000	830,000	562,000	過納会費返還・講堂建設助成
計	5,622,000	5,124,000	498,000	

米沢興譲館同窓会支部役員

◎米沢支部　連絡先　〒992-1443　米沢市大字笹野1101
米沢興譲館高等学校　☎0238 (38) 4741
支部長　高橋忠蔵
副支部長　相田英一・大友恒則
監　事　安達治雄
幹事長　小関　薫
事務局長　遠藤岩根

◎東京支部
支部長　磯貝昌弘
副支部長　後藤主計・月生田健
幹事長　吉田仁志
副幹事長　板垣昭次・五雲寺卓・川井陽一
本川　裕・大浦顕逸
連絡先　〒120-0002　東京都足立区中川4-8-11-101
㈱ハナマル（吉田仁志）
☎03 (3606) 6101 (FAX共)

◎関西支部
支部長　遠藤昌雄
副支部長　山本三郎・大石　彰・川合雄介
幹事長　大槻正重
事務局　連絡先　勝見哲朗
〒537-0011　大阪市東成区東今里2-15-30
サン美術印刷㈱　☎06 (976) 0231

◎宮城支部
支部長　中條　仁
副支部長　芳賀滋弥・和田美和子
幹　事　林一郎・小林令児・矢尾板範子・香坂昌紀
大武清夫・小関隆久・金子謙一・猪俣良市
御供政敏・森下和夫・高橋芳彦・鈴木利実
連絡先　〒983-0862　仙台市宮城野区二十人町6
☎022 (291) 5372 (中條　仁)

◎山形支部
支部長　板垣義次
副支部長　堤　孝雄・後藤　寛
幹　事　二瓶　功・花輪完治
監　事　岩沼　甫・安部　敏

◎県庁教育委員会職員同窓会
会　長　佐々木洋治
副会長　山村　勝・高橋　潔
幹事長　斎藤忠男
幹事長代理　鈴木敬次

◎置賜地区県職員同窓会
連絡先　〒992-0012　米沢市金池東南置賜合同庁舎
☎0238 (24) 2311
支部長
幹事長　大海康一

スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）指定について

本校は、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受けました。

この事業には、全国40都道府県77校から応募があり、23都道府県26校が指定されました。1校あたり年間約2,000万円の研究開発費を計上し、高等学校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究を推進し、将来有為な科学技術系人材の育成に資することをねらいとしています。指定期間は、本年度から３ヵ年です。

本校においては、高等学校において身に付けた資質・能力が、生涯にわたって息長く機能し、豊かな生活と社会の発展に寄与する「科学する心」を育むこと、すなわち、“Lifelong Science”（生涯科学）を理念とし、学校設定教科「生涯科学」を新設し、「生涯にわたって科学的に思考し、創意工夫する力を育むための教育課程及び教育方法の研究開発」をテーマに、理数科生徒を核として実施します。

１年目の学校設定科目「生涯科学Ｉ」の主な計画は、下表のとおりです。

ねらい：「世界を広げ夢を抱く」：自然科学に対する興味・関心・好奇心の喚起と基礎・基本の定着

期	ねらい	学期	月	「生涯科学Ｉ」（学校内活動等） 体験的内容	授業的内容	対外活動等	
前期	自然科学を幅広く知り、興味・関心・好奇心を喚起する	一学期	4	・理数科ガイダンス			
			5	・ジュニアカレッジ（科学講演会）			
			6	・研究施設見学会			
			7			・保護者会 ・運営指導委員会	
		二学期	8		自然科学基礎講座	・対外科学活動参加(サイエンスキャンプ、ソーラーカー大会等) ・実験設備・機器の設置及び調整	
			9	・野外巡検		・中学校への波及事業	
後期	基礎・基本を確立し、問題意識を持つ		10	・山形大学一日大学講座 ・公益学セミナー	課題研究Ｉ	・理数科全国大会 ・運営指導委員会	個別添削指導
			11	・ノーベル講演会 ・日本科学未来館等見学		・デジタル教材の開発	
			12	・コンピュータ研修			
		三学期	1				個別添削指導
			2	・課題研究発表会		・発表会 ・運営指導委員会	
			3	・１年のまとめ			

文責：ＳＳＨ事務局